

滋 農 技 セ 第 240 号
平成 30 年(2018 年)6 月 1 日

関係機関の長 様

滋賀県農業技術振興センター所長
(公 印 省 略)

平成 30 年度一番茶萌芽生育状況および実収について (報告)

このことについて、別紙のとおり報告します。

担当：滋賀県農業技術振興センター
茶業指導所 志和将一
TEL 0748-62-0276
FAX 0748-62-7095

平成30年度一番茶萌芽状況報告

滋賀県農業技術振興センター茶業指導所

1. 萌芽期

本年	前年	前5か年
3月31日	4月10日	4月7日

2. 生育状況

項目	年次	4月12日	4月17日	4月22日	4月27日	5月2日	5月7日
新芽長 (cm)	本年	1.71 ± 0.67	2.36 ± 0.90	4.29 ± 1.55	5.51 ± 1.97		
	前年		0.88 ± 0.24	1.38 ± 0.46	2.63 ± 0.69	4.12 ± 1.26	6.19 ± 2.00
	前5か年		0.93 ± 0.35	1.56 ± 0.58	3.11 ± 0.98	4.83 ± 1.50	6.30 ± 2.04
新葉数 (枚)	本年	1.32 ± 0.65	1.96 ± 0.57	2.94 ± 0.62	3.64 ± 0.60		
	前年	0.00 ± 0.00	0.40 ± 0.49	1.10 ± 0.65	2.00 ± 0.67	2.64 ± 0.60	3.56 ± 0.61
	前5か年	0.00 ± 0.00	0.33 ± 0.48	1.05 ± 0.62	2.11 ± 0.69	2.93 ± 0.63	3.47 ± 0.60

3. 気象表

項目・年次 月・旬	平均気温 (°C)			最高気温 (°C)			最低気温 (°C)			
	本年	前年	平年	本年	前年	平年	本年	前年	平年	
1月	上旬	3.0	4.8	2.9	6.9	10.2	8.0	-0.3	0.5	-1.3
	中旬	3.1	1.5	2.5	9.5	6.3	7.5	-1.7	-2.4	-1.7
	下旬	-0.1	1.7	2.3	4.8	7.0	7.2	-3.8	-2.4	-1.9
2月	上旬	0.2	2.2	2.1	5.8	6.5	7.5	-3.8	-1.2	-2.4
	中旬	2.2	2.9	2.9	8.3	9.0	8.2	-3.0	-1.3	-1.4
	下旬	4.2	3.4	4.3	11.6	9.2	9.9	-2.4	-2.1	-0.6
3月	上旬	7.1	4.9	4.9	12.2	11.6	10.6	1.5	-0.8	0.1
	中旬	8.3	5.7	6.2	16.0	12.1	12.3	1.5	-0.1	0.7
	下旬	9.8	6.9	7.5	17.8	12.0	13.6	2.5	2.2	1.8
4月	上旬	12.3	11.4	9.9	19.4	16.9	16.3	5.9	5.9	4.1
	中旬	13.2	12.7	11.9	19.2	19.0	18.4	7.2	6.4	5.9
	下旬	16.3	13.1	13.6	23.4	19.5	20.0	10.1	7.1	7.7

項目・年次 月・旬	降水量 (mm)			降水日数 (日)			
	本年	前年	平年	本年	前年	平年	
1月	上旬	27.0	15.5	17.6	7	4	3.8
	中旬	21.0	30.5	21.4	2	5	4.1
	下旬	12.0	29.5	24.4	4	6	4.5
2月	上旬	20.0	34.5	19.8	3	8	4.6
	中旬	1.0	26.5	29.0	2	7	4.5
	下旬	0.5	10.5	24.3	1	3	3.8
3月	上旬	54.5	6.5	31.3	4	5	4.7
	中旬	28.0	11.5	33.5	3	4	4.0
	下旬	33.0	57.0	39.3	2	3	4.8
4月	上旬	20.5	31.0	35.7	3	5	3.8
	中旬	72.0	55.0	31.2	6	5	4.1
	下旬	46.5	15.0	31.9	3	4	3.7

終霜日 本年 4月9日 (最低気温 0.8°C) 前年 4月13日 (最低気温 1.0°C)

最低極温 本年 -6.7°C (1月13日) 前年 -4.4°C (2月28日)

4. 供試園の条件

品 種	定植年次	栽植密度	樹高	株張り	その他
やぶきた	昭和31年3月 (63年生)	180cm×30cm	97cm	157cm	防霜ファン設置ほ場

年間施肥成分量 (kg/10a) N:64.0 P₂O₅:14.0 K₂O:20.6

5. 概況

1) 気象

本年の平均気温は、1月下旬から2月中旬まで平年に比べ低く～かなり低く推移し、最低気温も1月下旬から2月下旬まで低く推移した。3月に入ると平均気温は平年に比べかなり高く推移し、その傾向は摘採直前の4月下旬まで続いた。

期間中の降水量は336.0mmと平年並みであったが、2月中旬から下旬にかけては1.5mmと降水がほとんどなく、平年の3%に止まった。

2) 生育

本年の一番茶萌芽期は、3月に入り平均気温がかなり高く推移したことから、前年より10日早く、前5か年平均より7日早い3月31日となった。

このため、萌芽期以降の生育は平年同日と比べ7～10日早かったが、生育期間中の降水量が平年に比べ多く、平均気温がかなり高く推移したほど生育速度は早まらなかった。

平成30年度一番茶実収報告

滋賀県農業技術振興センター茶業指導所

1. 摘採日

本 年	前 年	前5か年
5月 1日	5月 9日	5月 9日

2. 生葉収量 (kg/10a)

本 年		前 年		前5か年	
収 量	指数	収 量	指数	収 量	指数
415 ± 31	83	439 ± 38	88	498 ± 39	100

3. 百芽重 (g)

本 年		前 年		前5か年	
重 量	指数	重 量	指数	重 量	指数
34.4 ± 3.2	81	37.6 ± 2.6	89	42.5 ± 2.9	100

4. 新芽数 (本/m²)

本 年		前 年		前5か年	
芽 数	指数	芽 数	指数	芽 数	指数
1169 ± 51	104	1214 ± 169	108	1120 ± 130	100

5. 出開度 (%)

本 年	前 年	前5か年
50	71	61

6. 概況

1) 生育

本年の一番茶摘採日は、萌芽期が前5か年平均より7日早かったため、前5か年平均より8日早い5月1日となり、萌芽期から摘採日までの日数は31日と前5か年平均と同じであった。

本年の摘芽状況は、新芽数が前5か年平均の104%であったものの、頂芽と側芽の生育量に大きな差があり百芽重が同81%となったことから、生葉収量は前5か年平均の83%（415kg/10a）となった。

2) 県内の状況

摘採始めは平坦地で4月29日頃、山間地で5月3日頃と平年より5日程度早かった。また、収量は本調査結果と同様に芽数は平年並であったものの、頂芽と側芽の生育量に大きな差があり百芽重が小さくなったため、減収となった。

3) 病害虫の発生

いずれの病害虫についても発生時期は早かったが、発生量はやや少なかった。